横浜市芸術文化教育プログラム推進事業

平成23年度事業報告書

［資料編］

横浜市芸術文化教育プラットフォーム

（ＳＴスポット横浜、横浜市芸術文化振興財団、横浜市教育委員会、横浜市文化観光局）

【収録した要項・マニュアルなど】

横浜市芸術文化教育プラットフォーム　平成 23 年度 学校プログラム 募集要項 ～小学校・中学校・特別支援学校の先生方へ～	全７ページ
学校プログラムのすすめかた 実施校の先生のために ｜ 平成 23 年度版	全９ページ
学校プログラムのすすめかた コーディネーターのみなさんへ ｜ 平成 23 年度版	全９ページ

横浜市芸術文化教育プログラム推進事業　平成２３年度事業報告書［資料編］

発行：横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局
（ＳＴスポット横浜、横浜市芸術文化振興財団、横浜市教育委員会、横浜市文化観光局）
作成：ＳＴスポット横浜　　公開開始：平成 24 年 6 月 15 日

《お問い合わせ先》〒220-0004　神奈川県横浜市西区北幸 1-11-15　横浜ＳＴビル 208
ＮＰＯ法人ＳＴスポット横浜　アート教育事業部　内　横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局
電話・ファックス：045-325-0414　メール：toiawase@y-platform.org

横浜市芸術文化教育プラットフォーム
平成 23 年度　学校プログラム　募集要項

～小学校・中学校・特別支援学校・高等学校の先生方へ～

芸術家が学校へ！

横浜市芸術文化教育プラットフォーム
PLATFORM
ＳＴスポット横浜、横浜市芸術文化振興財団、横浜市市民活力推進局、横浜市教育委員会

１．学校プログラムの概要

（1）学校プログラムとは？

芸術家が、直接学校へ出かけます　平成 16 年度にスタートした、子どものための芸術文化・教育事業です※。音楽・美術・演劇・ダンス・伝統芸能など、幅広い分野で活躍している芸術家（アーティスト）が、直接学校へ出かけます。「体験型プログラム」と「鑑賞型プログラム」の２種類があります。

コーディネーターと先生が、実施内容を調整します　学校プログラムでは、ふだん文化施設や芸術団体で活動しているスタッフが、学校での実施内容を調整するコーディネーターとして、授業づくりを支援します。対象となる学年と教科等のねらいや、ふだんの学校の様子といった先生が持っている情報と、コーディネーターがもつ文化芸術分野に関する専門知識をかけ合わせることで、効果的なプログラムが実施できます。

アートのちからを、学びの基礎づくりに活かします　私たちは、芸術文化のもつ創造性を通して、子どもたちが互いの力を認め合い伸ばしていく過程を大切に考えています。教科等との連動以外に、コミュニケーション能力の育成など、学びの基礎づくりの中で、力を発揮するのがアートです。自由な発想を導き、豊かな感性を育てることで、子どもたちの学習活動がより豊かなものになることを期待します。

※横浜市芸術文化教育プラットフォームとしては平成 19 年度より実施しています。

（2）学校プログラムには、２つの種類があります。

体験型プログラム　３日程度のプログラムです。具体的な体験を通して、アーティストとともに様々なジャンルの創造活動に取り組みます。ワークショップ形式で子どもの潜在的な創造性を引き出し伸ばしていくことを主眼に、体験する過程そのものを大切にしながら実施します。対象は一つの学年、取組みは１～２クラス単位で行います。　今年度は、４日～１２日程度のプログラムにも取り組みます※。

鑑賞型プログラム　基本的に１日で終了するプログラムです。アーティストによる演奏やパフォーマンスを鑑賞することが基本です。その後アーティストのお話しを聞くことで芸術文化を身近に感じることができます。音楽や伝統芸能の鑑賞を通して、芸術に触れる機会を提供します。対象は一つの学年です。

※文部科学省「児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験事業」や、文化庁「子どものための優れた舞台芸術体験事業・派遣事業」と連動して取組みます。該当校には、詳細を追ってご連絡します。

２．学校プログラムの募集内容

（１）応募資格と対象

横浜市立の小学校、中学校、特別支援学校、高等学校が対象です。なお、応募できるのは、学校ごとに１校で１プログラムのみです。

（２）プログラムの種類

「体験型プログラム」「鑑賞型プログラム」の 2 種類（詳細は１ページ）あわせて、全７０校程度、採択する予定です。

※これまでの取組み事例の一部は、プラットフォームのウェブサイト(http://y-platform.org)でも公開しています。

（３）募集期間と申し込み方法

平成 23 年 1 月 17 日(月)から 2 月 4 日(金)まで。メール添付かＦＡＸで、事務局へ別添の調書をお送りください。横浜市芸術文化教育プラットフォームの web ページ（http://y-platform.org/）にて、1 月 17 日（月）より募集要項と実施希望調書のダウンロードが可能です。

横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局
所在地：横浜市西区北幸１－１１－１５　横浜ＳＴビル２０８　ＮＰＯ法人ＳＴスポット横浜内
メール：toiawase@y-platform.org　ＴＥＬ＆ＦＡＸ：０４５－３２５－０４１４
ＵＲＬ：http://y-platform.org/

（４）募集に当たっての留意点

・実施希望をいただいても、全体の実施校数の枠の関係で、御希望に添えない場合がございます。実施希望が想定校数を上回った場合には、新規校・継続校のバランスや実施にあたっての取組の考え方（「期待する内容」「達成したい目標」など）等を総合的に踏まえて、事務局で選定させていただきます。何卒御了承ください。

・コーディネーターの選定は、事務局が行います。応募の際に指定することはできません。

・詳細は、実施決定後に、コーディネーターと話し合っていただきます。

・コーディネーターやアーティストの謝金と交通費は、事務局が負担します。消耗品や材料などは、学校側に負担していただく場合もあります。詳しくは、実施決定後に、コーディネーターとご相談ください。

３．今後のスケジュール

募集（１月１７日（月）～２月４日（金）まで）
この冊子の最後にある希望調書をお送りください。

事務局による実施校の調整（２月～４月）
一部の学校に対して、訪問・電話などの方法でヒアリングを実施する場合があります。より詳しいご希望をお知らせください。23 年度に実施しますので、担当者変更の際は、確実な引き継ぎをお願いします。

実施校への決定通知（５月より順次）
事務局と学校とで、簡単な取り決めの文書を交わし、実施を決定します。その際、コーディネーターをお知らせします。

実施に向けての調整（５月より順次）
担当コーディネーターと打合せをします。ねらい、ジャンル、回数、アーティストなどを調整します。コーディネーターに学校の詳細な希望とクラス・学年の状況をお伝えください。

アーティストの決定、実施内容の調整（随時）
学校と調整のうえ、アーティストを決定します。その後、適宜打合せを行い、プログラムを組み立てます。日程などもこの段階で決定します（その後も、必要に応じて打合せを行うことがあります）。

プログラム実施
打合せ内容に沿って、プログラムを実施します。時期は、平成 23 年度（おおむね平成 23 年 6 月から平成 24 年 3 月）の実施となります。

アンケートの実施、記録写真・映像などの確認、簡易な報告書の提出（実施後２週間程度）
プログラムの改善点やアドバイスなどをいただいた上で、次回以降によりよいプログラムをお届けできるよう、コーディネーターとの振り返り、各資料の提出にご協力ください。

※詳細は、取組実施校の通知の際にお知らせします。

４．実施希望調書の記入例

平成 23 年度横浜市芸術文化教育プラットフォーム／学校プログラム 実施希望調書

学校名、校長名	西区　プラットフォーム小学校　小川智紀　校長	
担当教諭名	田中真実 （担当が決まっていない場合は、校長先生のお名前をご記入ください。） （e-mail: toiawase@y-platform.org）	
連絡先	TEL：　１２３　―　１２３４　FAX：　５６７　―　５６７８	
学校の現状 学校プログラムに応募するにあたり、学校の現況について、教えてください。	**本校ではコミュニケーション能力の育成に力を入れた学校づくりを行っています。 その中で、来年の５年生は、落ち着きがあって、物事を慎重に進める半面、引っ込み思案でなかなか自分の考えや気持ちを表現することが得意ではない子どもたちが多いように見受けられます。**	
期待する内容 学校プログラムでどんなことをしたいか、お書きください。	**演劇やダンスといった体を動かすジャンルの体験型を希望します。 体を動かして、言葉だけに頼らない表現を通して、自分の考えや思いを恥ずかしがらずに伝える体験をさせてあげたいと思っています。またみんなで活動を行うことで、一体感を味わうことができればと思います。**	
達成したい目標 学校プログラムで達成したい目標をお書きください。	**この体験を通して、普段とは違う自分、そして友だちに気が付き、お互いをより理解しあいながら、適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てるきっかけになればと考えています。 ◎教科等のねらいやかかわりも含めて、お書きください。**	
	第一希望	**第二希望**
予定教科 ※複数選択可。	☐音楽　☐図画工作・美術　☑総合的な学習の時間 ☐生活　☑国語　☐社会　☐算数・数学　☐理科 ☐技術・家庭・職業　☐体育・保健体育 ☐外国語活動　☑道徳　☐特別活動 ☐ その他（　）	☐音楽　☐図画工作・美術　☑総合的な学習の時間 ☐生活　☐国語　☐社会　☐算数・数学　☐理科 ☐技術・家庭・職業　☑体育・保健体育 ☐外国語活動　☐道徳　☐特別活動 ☐ その他（　）
希望ジャンル ※現時点で未定なら選択不要。	☐音楽系　☐美術・工芸系 ☑演劇系　☐ダンス系 ☐伝統芸能系 ☐その他（　）	☐音楽系　☐美術・工芸系 ☐演劇系　☑ダンス系 ☐伝統芸能系 ☐その他（　）
希望種別	【鑑賞型】　【体験型】 ☐１日程度　☑３日程度　☐４～12 日程度	【鑑賞型】　【体験型】 ☐１日程度　☑３日程度　☐４～12 日程度
実施対象 ※予定で構いません。	5年生　2クラス、参加者数　76　人	5年生　2クラス、参加者数　76　人
実施時期 ※原則6月以降の実施となります。	10　月ごろ	1　月ごろ

横浜市芸術文化教育プラットフォーム PLATFORM
STスポット横浜、横浜市芸術文化振興財団、横浜市市民活力推進局、横浜市教育委員会

５．お問い合わせ・お申込み

横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局
所在地：横浜市西区北幸１－１１－１５　横浜ＳＴビル２０８　ＮＰＯ法人ＳＴスポット横浜内
メール：toiawase@y-platform.org　ＴＥＬ＆ＦＡＸ：０４５－３２５－０４１４
ＵＲＬ：http://y-platform.org/

横浜市芸術文化教育プラットフォームとは？

横浜の子どもたちの創造性をはぐくみ、豊かな情操を養う「学校プログラム」の拡大や質の向上をねらいとして、アートと地域、人々のつながる場がプラットフォームです。
横浜などで活動を続けるアート NPO や民間の芸術団体、地域の文化施設を中心に、学校、アーティスト、企業、地域、市民、行政などがゆるやかに連携・協働する場です。平成 20 年３月の設立以後、学校教育とアートをつなぐ「学校プログラム」を中心に、地域の課題解決へ向かう「コミュニティプログラム」、フォーラムをはじめとした情報共有を行う「中間支援プログラム」を通じて、アートの可能性をさぐっています。

（参考）平成２２年度の取組み校一覧・全７９校（予定を含む）

《音楽分野の取組み》鶴見小、羽沢小、浅間台小、六つ川台小、富士見台小、星川小、汐見台小、西富岡小、能見台南小、大豆戸小、東戸塚小、俣野小、矢部小、港南台第三小、永谷小、日限山小、日野南小、ひかりが丘小、山下小、山下みどり台小、阿久和小、瀬谷さくら小、二つ橋小、南瀬谷小、桂台小、上郷小、千秀小、いずみ野小、いちょう小、中和田南小、荏子田小、桂小、川和小、野庭中、盲特別支援、中村特別支援、北綱島特別支援

《美術分野の取組み》洋光台第四小、新羽小、品濃小、大正小、都岡小、二俣川小、竹山小、上瀬谷小、公田小、伊勢山小、鴨志田第一小、永田中、汐見台中、大正中、鴨志田中

《演劇分野の取組み》神大寺小、中丸小、坂本小、高田小、深谷小、上大岡小、善部小、新治小、榎が丘小、森中

《ダンス分野の取組み》永田小、永田台小、白根小、桜井小、泉が丘中、二つ橋高等特別支援

《伝統芸能分野の取組み》新鶴見小、寺尾小、本牧南小、藤の木小、川上小、鳥が丘小、南舞岡小、港南台第一小、希望ヶ丘小、左近山第二小、美しが丘東小

申し込み先：横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局　[e-mail　toiawase@y-platform.org]　[FAX　３２５－０４１４]

※切り取ってご使用ください。本様式は横浜市芸術文化教育プラットフォームのサイト（http://y-platform.org/）よりダウンロードできます。

平成23年度横浜市芸術文化教育プラットフォーム／学校プログラム 実施希望調書

学校名、校長名	区　　学校　　校長	
担当教諭名	（e-mail:　　）	
連絡先	TEL：　　―　　FAX：　　―	
学校の現状 応募するにあたり、学校の現況について、教えてください。		
期待する内容 学校プログラムでどんなことをしたいかお書きください。		
達成したい目標 学校プログラムで達成したい目標をお書きください。		
	第一希望	**第二希望**
予定教科 ※複数選択可。	□音楽　□図画工作・美術　□総合的な学習の時間 □生活　□国語　□社会　□算数・数学　□理科 □技術・家庭・職業　□体育・保健体育 □外国語活動　□道徳　□特別活動 □ その他（　　）	□音楽　□図画工作・美術　□総合的な学習の時間 □生活　□国語　□社会　□算数・数学　□理科 □技術・家庭・職業　□体育・保健体育 □外国語活動　□道徳　□特別活動 □ その他（　　）
希望ジャンル ※複数選択可。現時点で未定なら選択不要。	□音楽系　□美術・工芸系 □演劇系　□ダンス系 □伝統芸能系 □その他（　　）	□音楽系　□美術・工芸系 □演劇系　□ダンス系 □伝統芸能系 □その他（　　）
希望種別 ※複数選択可。	【鑑賞型】　【体験型】 □１日程度　□３日程度　□４～12日程度	【鑑賞型】　【体験型】 □１日程度　□３日程度　□４～12日程度
実施対象 ※予定で構いません。	年生　クラス、参加者数　人	年生　クラス、参加者数　人
実施時期 ※原則6月以降の実施となります。	月ごろ	月ごろ

横浜市芸術文化教育プラットフォーム
PLATFORM
ＳＴスポット横浜、横浜市芸術文化振興財団、横浜市市民活力推進局、横浜市教育委員会

学校プログラムのすすめかた

実施校の先生のために　|　平成23年度版

http://y-platform.org

横浜市芸術文化教育プラットフォーム
PLATFORM

企画・制作／横浜市芸術文化教育プラットフォーム
（ＳＴスポット横浜、横浜市芸術文化振興財団、横浜市文化観光局、横浜市教育委員会）

1 横浜市芸術文化教育プラットフォームとは？

横浜市芸術文化教育プラットフォームは、芸術文化の学校向けプログラムを中心とした「連携のしくみ」です。さまざまな立場の方があつまって、つくられています。ねらいは、次の三点です。

（１）学校現場の実状に応じ、カリキュラム上での位置付けを行うための体制づくり

（２）様々な実施主体、関係団体を結ぶネットワーク

（３）子どもたちにとって効果的なプログラムの提供及びプログラム実施に関する調査研究や人材育成

学校現場

子どもたちに対して効果的なプログラムを検討し、カリキュラムに位置付けるなど学校現場の実状に応じてプログラムを実施します。プログラム実施の方向性の提案も行います。

事務局（ＳＴスポット横浜内に設置）

年間を通して学校からの相談対応や、学校向けプログラムの募集業務等の調整を行います。ＳＴスポット横浜、横浜市芸術文化振興財団、横浜市文化観光局、横浜市教育委員会で構成されています。

推進委員会 芸術文化教育プラットフォームの総合的な推進を図ります。

芸術団体／文化施設

学校などで、子どもたちに向けたアートプログラムを実施します。その際、コーディネーターとして、学校の先生とアーティストをつなぎ、取組が円滑に進むよう調整します。

平成２３年度のコーディネート団体 ※順不同、予定

【アートＮＰＯ、民間芸術文化団体】特定非営利活動法人子どもに音楽を、特定非営利活動法人横浜こどものひろば、特定非営利活動法人芸術家と子どもたち、特定非営利活動法人 Offsite Dance Project、企業組合 Media Global、株式会社オフィスマキナ、よこはま音楽広場実行委員会、ART LAB OVA、民族歌舞団荒馬座、アートの時間、特定非営利活動法人黄金町エリアマネジメント、特定非営利活動法人 横浜シティオペラ

【地域の文化施設】泉区民文化センター／テアトルフォンテ、栄区民文化センター／リリス、神奈川区民文化センター／かなっくホール、旭区民文化センター／サンハート、鶴見区民文化センター／サルビアホール、青葉区民文化センター／フィリアホール、横浜市大倉山記念館、急な坂スタジオ、久良岐能舞台、吉野町市民プラザ、横浜市民ギャラリー、横浜市民ギャラリーあざみ野、横浜美術館、横浜みなとみらいホール、神奈川県立音楽堂、横浜にぎわい座

【事務局構成団体】横浜市芸術文化振興財団、特定非営利活動法人 ＳＴスポット横浜

これまでの実施校数

平成１６年度……６校（小学校４校、中学校２校）
平成１７年度……８校（小学校８校、参加児童：４３４人）
平成１８年度……２２校（小学校２２校、参加児童：１５００人）
平成１９年度……５１校（小学校４９校、中学校３校、参加児童生徒：９９５６人）
平成２０年度……６７校（小学校６１校、中学校４校、特別支援学校２校、参加児童生徒数：１１８０２人）
平成２１年度……８２校（小学校７６校、中学校４校、特別支援学校２校、参加児童生徒数：１３１１５人）
平成２２年度……７９校（小学校６８校、中学校７校、特別支援学校４校）
※今年度の状況は、ウェブサイト(http://y-platform.org)で詳しく紹介しています。

2 プラットフォームの「学校プログラム」とは？

（1）学校プログラムとは？

アートのちからを、学びの基礎づくりに活かします　私たちは、芸術文化のもつ創造性を通して、子どもたちが互いの力を認め合い伸ばしていく過程を大切に考えています。教科等との連動以外に、コミュニケーション能力の育成など、学びの基礎づくりの中で、力を発揮するのがアートです。自由な発想を導き、豊かな感性を育てることで、子どもたちの学習活動がより豊かなものになることを期待します。

芸術家が、直接学校へ出かけます　平成 16 年度にスタートした子どものための芸術文化･教育事業です（※）。音楽・美術・演劇・ダンス・伝統芸能など、幅広い分野で活躍している芸術家（アーティスト）等が、直接学校へ出かけます。「体験型プログラム」と「鑑賞型プログラム」の２種類があります。

コーディネーターと先生が、実施内容を調整します　学校プログラムでは、ふだん文化施設や芸術団体で活動しているスタッフが、学校での実施内容を調整するコーディネーターとして、授業づくりを支援します。対象となる学年と教科等のねらいや、ふだんの学校の様子といった先生が持っている情報と、コーディネーターがもつ文化芸術分野に関する専門知識をかけ合わせることで、効果的なプログラムが実施できます。

※横浜市芸術文化教育プラットフォームとしては平成 19 年度より実施。

（2）学校プログラムには、２つの種類があります。

体験型プログラム　三日程度のプログラムです。具体的な体験を通して、アーティストとともに様々なジャンルの創造活動に取り組みます。ワークショップ形式で子どもの潜在的な創造性を引き出し伸ばしていくことを主眼に、体験する過程そのものを大切にしながら実施します。原則として、対象は一つの学年、取組みは１～２クラス単位で行います。

鑑賞型プログラム　基本的に一日で終了するプログラムです。アーティストによる演奏やパフォーマンスを鑑賞することが基本です。その後アーティストのお話しを聞くことで芸術文化を身近に感じることができます。音楽や伝統芸能の鑑賞を通して、芸術に触れる機会を提供します。原則として、対象は一つの学年です。

実施にあたっては、事務局が選定したコーディネーター団体が、学校からの要望（実施日程、実施内容など）を聞き取り、最適な実施内容となるよう、学校と調整を行います。

3 年間の実施スケジュールは？

年間のスケジュールの流れは、次のとおりです。

事務局→実施校へ決定の通知（５月末まで）
事務局から学校に、実施の決定通知を出します。その際、コーディネーターをお知らせします。

実施に向けて、学校⇔コーディネーター間での調整（６月より順次）
担当コーディネーターと打合せをします。ねらい、ジャンル、回数、アーティストなどを調整します。コーディネーターに学校の詳細な希望とクラス・学年の状況をお伝えください。
＜コーディネーターとの確認ポイント＞
・目標の設定と具体的な授業イメージの共有
・授業を実施する学年、内容、時期などの再確認
・複数日にわたる場合は、実施するコマの確認（３・４時間目に二組、５・６時間目に一組、など）

メモ　事前に年間行事予定表などを用意しておくと、やりとりがスムーズになります。

アーティストの決定、実施内容の調整（随時）
学校と調整のうえ、アーティストを決定します。その後、適宜打合せを行い、プログラムを組み立てます。日程などもこの段階で決定します。その後も、必要に応じて打合せを行うことがあります。その際学校で用意できるもの（画用紙など）については、ご協力ください。
＜コーディネーターとの確認ポイント＞
・学校で用意するもの、コーディネーターが用意するものの確認
・実施場所や控室などの確認
・昼食は、どこでどのようにとるかを確認
・子どもたちに対して、事前に取り組みについてどう説明するか

プログラム実施
打合せ内容に沿って、プログラムを実施します。時期は、平成 23 年度（おおむね平成 23 年 6 月から平成 24 年 3 月）の実施となります。

アンケートの実施と集計、学校向け実施報告書提出など（実施後２週間程度）
プログラムの改善点やアドバイスなどをいただいた上で、次回以降によりよいプログラムをお届けできるよう、コーディネーターとの振り返り、各資料の提出にご協力ください。

4 アンケート実施と集計・報告書提出について

実施に際しては、終了後２週間を目安に、アンケートの実施－集計と、教員用報告書の提出をお願いします。

児童・生徒用アンケートの実施と集計 → 提出

今後の実施プログラムの参考にしますので、今回の授業に参加した子どもたちにアンケートを実施してください。

・対象…授業を実施した小学３年生以上の全児童・生徒が対象です。複数学年でプログラムを実施した場合は、小学３年生以上の任意の一学年のみ実施してください（小学１・２年生、特別支援級の子どもたちが対象の場合は、アンケートの提出は任意とします）。

・内容…別紙のひながたを、適宜印刷してご使用ください。

・集計…お手数ですが、実施報告書の中に集計フォームがありますのでご記入ください。

・提出…**すべてのアンケート用紙を報告書送付先（次ページ参照）までお送りください**。なお、事務局からは返却しませんので、必要に応じて控えを取り、取組みの振り返りに活用してください。

学校向け実施報告書の記入 → 提出

今後の事業の参考にしますので、担当教諭の方はアンケートにご協力ください。

・対象…今回の取組にいちばん深くかかわった教員の方、１名がご記入ください。

・内容…別紙のひながたにご記入ください。なお回答の一部は、事業報告として公開されます。

・提出…**報告書送付先（次ページ参照）までお送りください**。

活動記録写真（映像）の確認

取組を拡大するために使用しますので、写真（映像）の使用許諾確認にご協力ください。

・内容…授業を担当したコーディネーターが、活動の模様を撮影した写真（映像）に対して、使用許諾の確認をお願いします。（写真では５枚程度を想定しています）

・方法…学校によって、年間で一括の写真・映像許諾を得ている場合、保護者会や学年通信などで説明を行っている場合、個別対応が必要な児童・生徒が必要な場合などがあるかと思われますので、適宜コーディネーターとご相談ください。

・提出…コーディネーターが事務局に提出しますので、使用許諾の確認のみお願いします。

メモ　アンケート・記録写真・映像の使用目的は、つぎのとおりです。いずれも、横浜市個人情報の保護に関する条例に従って使用します。(1)横浜市芸術文化教育プラットフォームの広報用資料（報告書、ウェブサイト）(2)横浜市及び当事務局の各種資料 (3)横浜市及び当事務局主催事業(シンポジウム等)における配布用資料・紹介 (4)翌年度の募集要項におけるプログラム案内としての例示 (5)担当アーティスト・コーディネーターの資料 (6)その他マスコミ、自治体等からの要請による資料提供

5 横浜市芸術文化教育プラットフォームの連絡先

【報告書およびアンケートの送付先】※庁内メール便でご送付ください。

横浜市　市民局文化振興部文化振興課　芸術文化教育ＰＦ担当　喜瀬知絵　宛
神奈川県横浜市中区港町１－１　〒231-0017　TEL: 045-671-3715　FAX: 045-663-5606

そのほか、基本的な調整事項はコーディネーターが行いますが、問題が生じた場合は、プラットフォーム事務局にご相談ください。連絡先は、以下のとおりです。

横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局
特定非営利活動法人ＳＴスポット横浜　アート教育事業部　内
担当者：小川智紀（おがわ・とものり）、田中真実（たなか・まみ）
所在地：神奈川県横浜市西区北幸１－１１－１５　横浜ＳＴビル２０８
TEL&FAX: 045-325-0414　〒220-0004
・ＰＦ事務局として　http://y-platform.org　office@y-platform.org
・ＳＴスポット横浜として　http://www.stspot.jp　artedu@stspot.jp

横浜市教育委員会　事務局　指導部指導企画課
担当者：藤城守（ふじしろ・まもる）
神奈川県横浜市中区港町１－１　〒231-0017　TEL: 045-671-3266　FAX: 045-664-5499

横浜市　市民局文化振興部文化振興課
担当者：鬼木和浩（おにき・かずひろ）、喜瀬知絵（きせ・ちえ）
神奈川県横浜市中区港町１－１　〒231-0017　TEL: 045-671-3715　FAX: 045-663-5606

横浜市芸術文化振興財団　協働推進グループ
担当者：渡辺明美（わたなべ・あけみ）、高野明日実（たかの・あすみ）
神奈川県横浜市中区本町６－５０－１　ヨコハマ創造都市センター
〒231-8315　Tel. 045-221-0325　Fax. 045-221-0215

アンケート――アーティストの授業について教えてください

1．今回の授業を前から楽しみにしていましたか？

☐ 楽しみにしていた　☐ 楽しみではなかった　☐ 特に気にしていなかった

2．授業は楽しかったですか？　その理由も教えてください。

☐ 楽しかった　☐ 楽しくなかった　☐ どちらでもなかった

理由（　　）

3　あなたにとって、この授業でためになったことはありますか。

☐ あった　☐ なかった

理由（　　）

4　あなたは、劇場や美術館、音楽ホールに興味や関心はありますか？

☐ ある　☐ ない　☐ 行ったことがないので分からない

5　今回の授業であなたが感じたことや思い出に残ったことがあれば、自由に書いてください。

学校　　年　　組　男・女　名前

学校向け実施報告書（全２枚）

１．今年度の事業報告として、一部を公開します。どうぞご協力ください。

（１）本紙をご記入いただく先生のお名前とふりがなをお知らせください。

学校名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿学校

お名前：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　ふりがな：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

今回の取組みの実施科目：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（２）子どもたちのアンケートの集計結果をお知らせください。

１．今回の授業を前から楽しみにしていましたか？

・楽しみにしていた･････････････････････････････　　人

・楽しみではなかった･････････････････････････　　人

・特に気にしていなかった･････････････････････　　人

２．授業は楽しかったですか？　その理由も教えてください。

・楽しかった･････････････････････････････････　　人

・楽しくなかった･････････････････････････････　　人

・どちらでもなかった･････････････････････････　　人

◆主な理由など

３．あなたにとって、この授業でためになったことはありますか。

・あった･････････････････････････････････････　　人

・なかった･････････････････････････････････････　　人

◆主な理由など

４　あなたは、劇場や美術館、音楽ホールに興味や関心はありますか？

・ある･･･　　人

・ない･･･　　人

・行ったことがないので分からない･･････････････　　人

５　今回の授業であなたが感じたことや思い出に残ったことがあれば、自由に書いてください。

◆主な記述など

（次のページに続きます）

（３）次に、担当の先生にお伺いします。今回の横浜芸術文化教育プログラムについて『アーティストによる授業を通して、感じたこと』というテーマで、実施時の様子、今後の期待や希望、感想などをご記入ください（２００字程度)。

２．引き続き、担当の先生にお伺いします。以下の項目は、学校名、個人名が特定されない形で集計しますので、ご協力をお願いします。（ここでご回答いただいた内容は、来年度の選考とは一切関係がございませんので、率直なご意見をお聞かせください）

（１）実施にあたって、コーディネーターと適切なコミュニケーションをとることはできましたか。

1	2	3	4
とれた	どちらかといえば、とれた	どちらかといえば、とれなかった	とれなかった

（２）子どもたちはプログラムに満足していたようでしたか。

1	2	3	4
満足	どちらかといえば、満足	どちらかといえば、不満	不満足

（３）先生のねらいに照らして、今回のプログラムは満足できるものでしたか。

1	2	3	4
満足	どちらかといえば、満足	どちらかといえば、不満	不満足

運営面で問題点や改善すべき点がありましたら、別途ご記入ください。ご協力ありがとうございました。

学校プログラムのすすめかた

コーディネーターのみなさんへ ｜ 平成23年度版

http://y-platform.org

横浜市芸術文化教育プラットフォーム
PLATFORM

企画・制作／横浜市芸術文化教育プラットフォーム
（ＳＴスポット横浜、横浜市芸術文化振興財団、横浜市文化観光局、横浜市教育委員会）

1 どんなスケジュールで、事業を進めるのか

学校での授業については、基本的に、アーティストの選定から、学校との交渉のタイミング、実施日程の決定など、多くの部分をコーディネーターにおまかせします。コーディネーター自身はもちろんのこと、学校にも、アーティストにとっても適切な事業進行管理をおねがいします。

年間のスケジュールは次のとおりです。授業の実施時期が９月以降の場合は、大まかに次のような進行になります（例外もあります）。

コーディネーター	時期	ＰＦ事務局
ステップ１　**担当校調整：5 月 31 日まで** 事務局と仕様などを確認の上、実施担当校を決定します。	3-4 月	一部の学校へ、ヒアリングを実施
	5 月	各コーディネーターと実施校の調整 下旬以降に、各学校に決定を通知
ステップ２　**実施打合せ：6 月 1 日から** 学校の担当者から希望を聞いてください。実施日程とアーティスト選定について**8 月 10 日を目途に中間報告**をお願いします。その後、順次、契約書を締結します。	6 月	コーディネーター会議を開催（調整中）
	7 月	教師のためのワークショップを実施
	8 月	
ステップ３　**実施：3 月末までの任意の時期** とにかく楽しい内容になるよう、全力をつくしてください。 **ステップ４**　**終了後：半月以内に報告を** 終わったら、報告書・写真などをＰＦ事務局に送ってください。そのあと、事務局から指定口座に入金します。	9 月	各コーディネーターが担当している実施現場の一部を見学 順次、実施について記者発表
	10 月	
	11 月	
	12 月	
	1 月	中間の報告書を取りまとめ（調整中）
	2 月	取組のまとめ・発表（調整中） 中旬に、次年度の募集開始
	3 月	次年度の実施校の調整

事務局へ提出する書類

（1）団体プロフィール ……5 月 31 日（火）までに
（2）実施予定プログラムシート ·8 月 10 日（水）ごろまでに中間報告として
（3）報告書 ……終了後、半月以内に
（4）写真 ……終了後、半月以内に

2 ステップ１ 担当校調整：５月３１日まで

＜担当校の内定＞

まず、担当していただく学校（担当校）について、事務局と打合せの上、仕様を含めた進行の手順を確認します。

＜団体プロフィールの提出について＞

コーディネーターの皆さんには「**団体プロフィール**」を作成していただきます。これは、学校への実施決定連絡の際に伝える情報以外に、ホームページや報告書に記載するプラットフォームの公開情報として、またコーディネーター間の情報共有手段として、１年間使われるものです。昨年度作成していただいたものがある場合は、そのまま使用いたします。内容の変更・改訂は随時お受けしますので、事務局までお知らせください。

【記入例】

■ウェブサイト・報告書などで公開する情報	
団体名／施設名	特定非営利活動法人ＳＴスポット横浜
ＵＲＬ	http://stspot.jp/
主な活動ジャンル	□音楽　■演劇　■舞踊　□美術　□伝統芸能　□その他
団体 PR（200～300 字程度）	ＳＴスポット横浜は地域の芸術文化機関として、昭和 62 年に発足しました。小劇場「ＳＴスポット」を拠点に、現在国内で活躍する多数の地元アーティストを輩出するなど、創造環境全体の向上に努めてきました。 平成 16～20 年度には「アートを活用した新しい教育活動の構築事業」を神奈川県、県教委との協働事業として実施し、県内の幼稚園、小・中学校及び高等学校、特別支援学校等にアーティストを講師として派遣し、演劇やダンス、現代美術等の授業を行いました。 平成 20 年度からは「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」の事務局を担当し、学校教育とアートの現場をつなぐ事業を推進しています。
■担当校と、他のコーディネーターも含めたプラットフォーム内部で共有する情報	
コーディネート担当者（ふりがな）	小川智紀（おがわ・とものり）、田中真実（たなか・まみ）
郵便番号	220-0004
住所	神奈川県横浜市西区北幸 1-11-15　横浜ＳＴビル 208
日中連絡が取れる電話番号	045-325-0414
ＦＡＸ番号	045-325-0414
メールアドレス	artedu@stspot.jp
備考	

3 ステップ２ 実施打合せ⑴：６月１日から

＜学校での打ち合わせに際して＞

学校にコーディネーター団体をお知らせする６月１日（水）以降、担当校へのご連絡をお願いします。なるべく夏休みごろまでに、電話でのやり取りや、実際に学校へ足を運ぶなどして、担当の先生と顔合わせ、打合せをお願いします。進め方は、各団体独自の方法で進めていただいて構いません。以下は参考です。

メモ　学校とのやり取りは、ファックスがいちばん確実です。電話は、放課後（１５時３０分以降）が繋がりやすいようです。また、メールは連絡の補助手段と考えたほうがいいようです。

学校との実施イメージの確認

・授業を実施する学年、内容、時期などの再確認
・目標の設定
・複数日にわたる場合は、実施するコマの確認（３・４時間目に二組、５・６時間目に一組、など）

メモ　目標の設定については「からだを使った取組みをする」など、スローガン的なフレーズで合意しておくと、その後の進行の助けになる場合があります。先生が不安そうでしたら、一度紙に落とした上で確認をすると、問題点が明確になることがあります。

アーティストとの実施イメージの確認

・事業の趣旨の説明
・取組むプログラムの検討と目標の設定
・スケジュール（移動、振り返りの時間も含めて）
・具体的な授業のイメージを膨らませる
・学校で用意するもの、コーディネーターまたはアーティストで用意するものの確認
・実施場所の確認
・謝金とアシスタントの有無について

メモ　アーティストが学校で取り組む上で不安を持っている場合は、顔合わせと学校の様子を見学を兼ねて事前に学校をおとずれてみるのもいいかもしれません。また、アーティストの公演・展示の機会があれば、先生をお誘いして伺うこともできるかもしれません。

実施に向けての最終確認

・写真撮影の許諾について（詳細は、ステップ３をご覧ください）
・実施場所の確認、着替えの場所や控室の確認
・昼食は、どこでどのようにとるかを確認（変更はだいたい一週間前まで）
・子どもたちに対して、事前に取り組みについてどう説明するか

4 ステップ２ 実施打合せ(2)：8 月 10 日までに中間報告

＜実施予定プログラムシートの提出について＞

その後、学校側と実施に向けた調整を続け、8 月 10 日（水）までに「実施予定プログラムシート」で、目標、実施日、アーティストなど決定・内定した状況をＰＦ事務局まで中間報告してください。

【記入例】

■学校	
学校名	横浜市立プラットフォーム第一中学校
担当教諭名	鬼木和浩（１組担任）、喜瀬知絵（２組担任）、渡辺明美（美術）
■コーディネーター	
団体名	ＮＰＯ法人ＳＴスポット横浜
コーディネート担当者名	小川智紀、田中真実
■アーティスト	
アーティスト名	藤城　守
アーティスト肩書	画家・漫画家
アーティストプロフィール（200 字程度）	1937(昭和 12)年、東京葛飾生まれ。子供のころからいくつものアルバイトを経験し、小学校卒業とともにメッキ工場に勤める。その後職を変わりながら、職業としてマンガ家をめざし、1955(昭和 30)年に単行本『白面夜叉』で本格デビュー。貸本マンガや子供向け雑誌で活躍。1965(昭和 40)年から「月刊漫画ガロ」に作品を発表し、徐々に注目を集めるようになる。独特な作風で知られ、寡作ではあるが、根強いファンを持つ。代表作に『ねじ式』『紅い花』『無能の人』などがある。
■実施予定概要	
ジャンル	美術
プログラム名	デザイン
実施日程・時程	2011 年　8 月　2 日　1 時限目　～　6 時限目
	2011 年　8 月　9 日　1 時限目　～　6 時限目
	2011 年　8 月　16 日　1 時限目　～　6 時限目
実施科目・教科名	総合的な学習の時間
取り組む学年、クラス数	2 年生 2 クラス、特別支援学級 1 クラス
対象人数	78 人
学校・アーティスト・コーディネーター間で合意した目標（200 字程度）	吹き出し、コマ割り、あるいは絵が単純で感性に直接的に訴えるマンガの視覚表現方法を理解し、そのエネルギーを子どもたちに身につけてもらう。また、マンガを、イメージをはっきりさせるための一つの道具として捉えることで、対象を深く見つめる力、感性や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し創造的に表現する能力を伸ばす。

＜契約について＞

上記の中間報告の内容に基づき、ＰＦ事務局とコーディネーターが契約を締結します。

5 ステップ3 プログラムの実施：実施は年度内に

プログラムを実施する時期は、年度内の任意の時期で結構です。実施は、各団体におまかせします。実施の際は、取材対応をお願いする場合もあります。

＜活動記録写真について＞

コーディネーターのみなさんには、活動記録写真を撮影した上で、事務局に送っていただきます。なるべく問題が起こらないよう、学校と慎重に打ち合わせをすすめてください。

学校への撮影許可のとり方

・基本的に、応募の段階で記録写真をとることを学校側は承諾していますが、個別事情の確認をお願いします。また、基本的な使用目的が「記録」にあることを説明してください。

メモ　記録写真の使用目的は、つぎのとおりです。いずれも、横浜市個人情報の保護に関する条例に従って使用します。（ 1)横浜市芸術文化教育プログラム推進事業の広報用資料（報告書、ウェブサイト）(2)横浜市及び当事務局の各種資料 (3)横浜市及び当事務局主催事業(シンポジウム等)における配布用資料・紹介 (4)翌年度の募集要項におけるプログラム案内としての例示 (5)担当アーティスト・コーディネーターの資料 (6)その他マスコミ、自治体等からの要請による資料提供

実際の撮影

・事前に学校と確認した内容に沿って、デジカメ等で写真を撮影してください。

・最終的に事務局にお送りいただく写真は５枚程度ですが、学校ＮＧを想定して、多めに撮影しておいてください。

メモ　撮影許可へのよくある反応と、その対応策

・「撮影については、すでに一括許諾を得ているので問題ありません」→問題なし。

・「保護者の許諾が必要です」→（１）学級通信・学年通信で撮影がある旨お知らせする、（２）保護者会で説明する、などの方法があることを提案し、対応してください。

・「事情があり撮影不可能な児童・生徒がいる」→（１）該当する子が入らないように撮影する、（２）撮影不可能な児童・生徒がいないクラスを撮影対象にする、（３）子どもたちの後ろ姿だけを撮影する、（４）事後確認をきちんと行う、の組み合わせで対応してください。

撮影の確認

・取組終了後、撮影した写真を学校側に確認してもらってください。

・確認方法はいろいろありますが、（１）後日直接学校に行って確認してもらう、（２）写真をプリントアウトし郵送した上でＯＫをとる、などが考えられます。臨機応変に対応ください。

・最終的に５枚程度を、事務局までＪＰＥＧデータ形式でお送りください。

メモ　学校側との調整が難航した場合は、事務局までお知らせください。

＜活動記録映像について＞

現在事務局で調整中ですが、基本的に各コーディネーターに映像撮影をお願いすることはありません。

6 ステップ4 プログラム終了後：半月以内に報告

＜アンケートについて＞

実施終了後に、先生たちがアンケートを実施します。コーディネーター側では、アンケートを実施する必要はありません。

＜実施報告書の提出について＞

実施内容、コーディネーターの感想、アーティストの感想などを記入した報告書を事務局までお送りください。ひながたは、別途データでお送りします。各校の実施終了後、2 週間以内を目途に事務局までお戻しください。

メモ　「実施予定プログラムシート」と項目が重複していますので、変更がなければ同内容を記載していただいて結構です。

メモ　アーティストのコメントをとる欄があります。たとえば、現場で聞き書きするなど、工夫してコメントをとってください。

＜経費について＞

以上の到着を確認した上で、事務局より事業経費の入金をします。この中には、税金、材料費、交通費、機材運搬費等全てを含みます。アーティストやアシスタントなどへの支払い関連業務（銀行振込や所得税の源泉徴収など）は、各団体にお任せします。

ただし、プログラムによって入金方法が異なる場合があります。その際には、別途ご説明します。

＜個人情報の取り扱いについて＞

この事業を実施する上で知り得たすべての情報（学校の個別の情報、写真など）の取り扱いについてはくれぐれもご注意ください。

7 芸術文化教育プラットフォームって何なのか？

芸術文化教育プラットフォームは、芸術文化の学校向けプログラムを中心とした「連携のしくみ」です。さまざまな立場の方があつまって、つくられています。ねらいは、次の三点です。

（１）学校現場の実状に応じ、カリキュラム上での位置付けを行うための体制づくり

（２）様々な実施主体、関係団体を結ぶネットワーク

（３）子どもたちにとって効果的なプログラムの提供及びプログラム実施に関する調査研究や人材育成

芸術団体／文化施設

学校などで、子どもたちに向けたアートプログラムを実施します。その際、コーディネーターとして、学校の先生とアーティストをつなぎ、取組が円滑に進むよう調整します。

事務局（ＳＴスポット横浜内に設置）

年間を通して学校からの相談対応や、学校向けプログラムの募集業務等の調整を行います。ＳＴスポット横浜、横浜市芸術文化振興財団、横浜市文化観光局、横浜市教育委員会で構成されています。

推進委員会 芸術文化教育プログラムの総合的な推進を図ります。

学校現場

子どもたちに対して効果的なプログラムを検討し、カリキュラムに位置付けるなど学校現場の実状に応じてプログラムを実施します。プログラム実施の方向性の提案も行います。

平成２２年度のコーディネート団体 ※順不同

【アートＮＰＯ、民間芸術文化団体】特定非営利活動法人 子どもに音楽を、特定非営利活動法人 横浜こどものひろば、特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち、特定非営利活動法人 Ｏｆｆｓｉｔｅ Ｄａｎｃｅ Ｐｒｏｊｅｃｔ、企業組合Ｍｅｄｉａ Ｇｌｏｂａｌ、株式会社オフィスマキナ、横浜邦楽邦舞家協会、よこはま音楽広場実行委員会、ＡＲＴ ＬＡＢ ＯＶＡ、民族歌舞団　荒馬座、アートの時間、特定非営利活動法人 横浜音楽協会、特定非営利活動法人 横浜シティオペラ

【地域の文化施設】泉区民文化センター／テアトルフォンテ、栄区民文化センター／リリス、神奈川区民文化センター／かなっくホール、旭区民文化センター／サンハート、磯子区民文化センター／杉田劇場、横浜市大倉山記念館、急な坂スタジオ、久良岐能舞台、吉野町市民プラザ、横浜市民ギャラリー、横浜市民ギャラリーあざみ野、横浜美術館、横浜みなとみらいホール、神奈川県立音楽堂

【事務局構成団体】横浜市芸術文化振興財団、特定非営利活動法人 ＳＴスポット横浜

これまでの実施校数

平成１６年度……６校（小学校４校、中学校２校）

平成１７年度……８校（小学校８校、参加児童：４３４人）

平成１８年度……２２校（小学校２２校、参加児童：１５００人）

平成１９年度……５１校（小学校４９校、中学校３校、参加児童生徒：９９５６人）

平成２０年度……６７校（小学校６１校、中学校４校、特別支援学校２校、参加児童生徒数：１１８０２人）

平成２１年度……８２校（小学校７６校、中学校４校、特別支援学校２校、参加児童生徒数：１３１１５人）

8 横浜市芸術文化教育プラットフォームの連絡先

報告事項以外でも、トラブルが生じそうなときは、プラットフォーム事務局にご相談ください。コーディネーターといっしょになって難局を乗り越えたいと考えています。

事務局の連絡先は、以下のとおりとなります。

横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局
特定非営利活動法人ＳＴスポット横浜　アート教育事業部　内
担当者：小川智紀（おがわ・とものり）、田中真実（たなか・まみ）
所在地：神奈川県横浜市西区北幸１－１１－１５　横浜ＳＴビル２０８
TEL&FAX: 045-325-0414　〒220-0004
・ＰＦ事務局として　http://y-platform.org　office@y-platform.org
・ＳＴスポット横浜として　http://www.stspot.jp　artedu@stspot.jp

また、プラットフォーム事務局を構成している機関・団体の連絡先は、以下のとおりです。

横浜市　文化観光局文化振興部文化振興課
担当者：鬼木和浩（おにき・かずひろ）、喜瀬知絵（きせ・ちえ）
神奈川県横浜市中区港町１－１　〒231-0017　TEL: 045-671-3715　FAX: 045-663-5606

横浜市教育委員会　事務局　指導部指導企画課
担当者：藤城守（ふじしろ・まもる）
神奈川県横浜市中区港町１－１　〒231-0017　TEL: 045-671-3266　FAX: 045-664-5499

横浜市芸術文化振興財団　協働推進グループ
担当者：渡辺明美（わたなべ・あけみ）、髙野明日実（たかの・あすみ）
神奈川県横浜市中区本町６－５０－１　ヨコハマ創造都市センター
〒231-8315　Tel. 045-221-0325　Fax. 045-221-0215